

県立学校における生成 AI の利活用に関するルール（児童生徒向け）

沖縄県教育委員会（Ver.2025.10.30）

このルールは「**初等中等教育段階**における生成 AI の利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）」〔令和 6 年 12 月 26 日 文部科学省**初等中等教育局**〕に基づき、沖縄県教育委員会が県立学校の**実情**に即して作成したものです。今後、文部科学省のガイドラインの内容が改訂された場合には、このルールもそれに**準**じて見直し・**改訂**を行います。

1. 生成 AI を学校で使うときの大切なルール

みんなの周りでは、文章を書いたり、絵を描いたり、プログラミングを手伝ってくれたりする**生成 AI**がどんどん広まっています。生成 AI は、私たちの生活や学びをより便利に、より深くしてくれる可能性を秘めていますが、正しく、**賢く**使うためのルールを知っておくことがとても大切です。

このルールは、生成 AI とどう向き合い、どう使いこなせば、みんなの学びが深まり、**将来**に役立つ力を身につけられるかを一緒に考えるためのものです。

2. 生成 AI を使う上で、絶対に忘れないでほしいこと：最終的に決めるのは「私たち人間」

生成 AI はとても便利な道具ですが、鉛筆や電卓と同じようにあくまで「道具」です。**最終的に考え、判断**し、その**結果に責任**を持つのはあなたです。

生成 AI の**出力**は「参考の一つ」として捉え、何でも生成 AI に任せきりにしないことが最も重要です。

3. 生成 AI の「良いところ」と「注意すべきところ」

生成 AI は多くの情報を学習し、私たちを助けてくれます。

（1）良いところ（活用の例）

- **アイディア出し・議論の支援**：グループでの話し合いや課題研究で行き詰まったとき、新しい視点やアイディアを得て議論を深めることができます。
- **語学学習の支援**：英会話の練習相手になったり、自然な表現を教えてくれたり、興味に応じた単語や例文を用意してくれたりします。
- **プログラミング支援**：あなたが考えたプログラムを組み立てる手助けをしてくれます。
- **情報整理・文章作成支援**：大量の情報を整理してわかりやすくまとめたり、レポート・文章のたたき台を生成してくれたりします。

（2）注意すべきところ（NG 行為）

- 生成 AI が作ったものを「そのまま**提出**」しないこと：進学先への自己推薦文、宿題・提出物、作文、レポート、課題研究、コンクール作品などで、生成 AI が作ったものをほとんどそのまま自分の**成果物**として出すことは**不適切な行為**です。それは、自分の学びの機会を奪うばかりでなく、評価を下げる可能性もあります。このような利用は避けましょう。
- **感性や独創性を問われる場面**で**安易に頼らないこと**：詩、絵、感想文など、自分の感性が問われる課題に対して生成 AI を多用すると、自分の**成長機会**を失うことになります。
- 生成 AI に**過度に依存**しないこと：生成 AI に頼りすぎると、自分で考え判断する力が育ちににくくなる恐れがあります。

4. 生成 AI を使うときに気をつけたいこと（リスクと対処法）

- (1) ハルシネーション（生成 AI が誤った情報を生成すること）：生成 AI は、もっともらしくても、誤った情報を生成することがあります。自分で調べて確かめましょう。
- (2) バイアス（偏った考え方）：生成 AI の学習データに偏りがあると、差別的・偏見的な出力をすることがあります。公平な目で確認しましょう。
- (3) 個人情報の保護：生成 AI には、名前、住所、顔写真、友人の情報など、個人を特定できる情報は入力しないこと。
- (4) 著作権の配慮：生成 AI で作ったものを使う際は、既存作品との類似性に注意し、「生成 AI 利用（サービス名・プロンプト・日付など）」を明記しましょう。
- (5) 学校外での利用にも注意：スマホ等で生成 AI を使う場合にも同様のリスクに注意し、過度な依存を避けましょう。
- (6) 生成 AI に人格はない：生成 AI は人のように話しますが、感情や意識はありません。人格を持つものではありませんので、誤解しないようにしましょう。

5. 情報の真偽を見極める力と情報モラル

生成 AI が普及する社会では、情報活用能力がこれまで以上に重要になります。

- (1) ファクトチェック：生成 AI が出した情報だけでなく、インターネット上の情報についても複数の情報源で確かめ、正確性を見抜く力を持ちましょう。
- (2) 情報モラル：生成 AI が出した情報を発信する際には、他者への影響、人権・知的財産権を尊重し、責任ある行動を心がけましょう。

6. 保護者や先生との連携

保護者の同意が必要な場合もある：生成 AI サービスの利用には年齢制限や保護者・先生の同意が必要な場合があります。ルールに従って使いましょう。

7. 保護者の皆様へのお願い

生成 AI は、これからの社会を生きていくお子様たちにとって、重要なツールとなり得ます。学校では、そのメリットを最大限に生かしつつ、リスクを適切に管理しながら、お子様の学びを深め、未来を生き抜く力を育むために活用を進めます。ご家庭におかれましても、ホームページ等での学校からのお知らせにご留意いただき、お子様が不適切な利用をしないよう、ご指導ご協力をお願いいたします。

8. まとめ：未来の社会で生成 AI を使いこなすために

生成 AI はこれからも進化し、社会のあらゆる場面で活用されていくでしょう。これからの社会を生きるみんなには、生成 AI を単なる道具として使うだけでなく、その仕組みを理解し、賢く使いこなす

「情報活用能力」が求められます。

生成 AI の「良いところ」と「注意すべきところ」をしっかりと理解し、自分で考え、判断する力を身につけ、生成 AI をみんなの学びや未来のために上手に活用していきましょう。